



地域なんでも情報局

令和4年11月15日発行
長崎市社会福祉協議会
長崎市恵美須町4番5号
☎095-828-1281

第45号

特集記事

9月13日に「西山台ふれあいサロン」の十周年記念式典が行われました。



西山台ふれあいサロン十周年

西山台地区

寿寺の副住職の文殊大輔さんによる講話です。その中で「三心」という料理の考え方についてのお話がありました。一つ目は「喜心」喜びの心です。何事も喜びの気持ちを持つて行うことが大事だと言われていました。二つ目は「老心」慈しみの心であり、料理を召しあがる人のことを思う「おもてなし」の心だそうです。三つ目は「大心」広い寛大な心です。どんな方へも偏見や固定観念を捨て、相手のことを思うことです。この「三心」は日常生活でも意識すると良いそうです。

もう一つは、活動のスライドショーです。十年間の厳選された写真が音楽付きで流されました。スライド写真の内容は、サロンの発足時に田上市長が訪問された時の写真、ズンドコ節に合わせて体操を行っている写真、新年会には美味しいぜんざいを食べている写真、出前講座で大学生が落語を披露している写真、スクエアステップやせうのお体操、音読など心身の健康づくりにつながる活動の写真がありました。『「なつかしかね」「こんなこともあったね！」』



(辻 悠生)

買い物ツアー助かる

伊王島地区

伊王島地区「高齢者見守りネットワーク協議会」(以下、「NW」という)では、75歳以上で生活の上で見守りが必要な方々を近隣住民でネットワークを組んで見守っています。NWの定例会に伊王島にあるアイランドナガサキ様が来られて「何か地域の高齢者の方へ支援することがないか?」「買い物や移動に関することがあるのではないか?」ということが話し合いが始められました。



「旅行のツアーのような買物ができるの企画をして欲しい」という声が挙がりました。そこで、企業の善意と住民の声が一致して、今回初めて「買い物ツアー」が実現しました。このツアーに参加した皆さんは、「楽しみながら買い物が出来たし、久しぶりにいろんな人と一緒に楽しかった」と帰りのバスで話されていました。(田栗 恵)

当会ホームページから「地域なんでも情報局」バックナンバーがダウンロードできます!
『長崎 地域なんでも情報局』で検索♪
下記QRコードからも見られます。



高城台 輪っしよい祭り

9月25日に高城台地域コミュニティ連絡協議会主催の「第1回輪っしよい祭り」が開催されました。

高城台地区



輪っしよい祭りは、高城台小学校区周辺の商業店舗や趣味サークルの出店・出演により、地元事業者の活性化と交流を促進する事や、各種団体の発表の場を創り出す事で、子ども達の健全育成と社会参画を促し、多くの「賑わい」を創る事を目的として開催されました。当日はコロナウイルスの感染対策を充分に行い、2,500人を超える地域住民にご参加いただきました。



(徘徊模擬訓練の声かけ中)

ステージ発表では、学校やスポーツクラブ等地域で活躍する皆さんが日々の努力の成果を披露され、応援や拍手が飛び交いました。本会も東長崎地域包括支援センターと協力し、子ども達も楽しめるような認知症徘徊模擬訓練のブースを作り、130人を超える皆さんに参加いただきました。出店や出し物を楽しみながら福祉についても学べるお祭りととなり、子ども達の歓声が絶えない賑わいを見せました。

この祭りはこれから高城台地区が一致団結し発展していくための第一歩となりました。(戸畑 太一)

小神小学校区見守りネットワーク

平成31年4月28日に発足

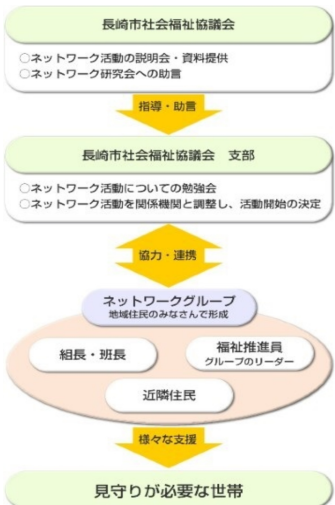
した小神小学校区見守りネットワークでは、小神連自治会、立神地区連自治会、民生委員・児童委員協議会、立神地区老人クラブ連合会、社会福祉法人小神アスカ福祉会が発起人となり、地域の目線で認知症高齢者を見守る活動を行っています。

この活動は、校区内で度々認知症高齢者の行方がわからなくなる事案が発生しており、地域で見守る仕組みを望む声が上がっていたことを機に社会福祉法人小神アスカ福祉会が事務局となりネットワークを構築しています。コロナ禍で活動が制限される中、ミニコロナの観点から2年半ぶりに今年度から活動を再開されま



小神地区

した。小神地区の65歳以上高齢者856人(令和3年度)のうち認知症の方々が対象です。再開した定例会では、実際に発生した外出後、自宅へ戻れなくなった高齢者に対して、保護発見から家族へ連絡する一連の流れについて事例紹介があり、その対応について共有するなど学びを深めました。



本会が社協支部に助成するこの活動は、独居高齢者、高齢夫婦世帯や障がい者世帯など何らかの見守りを要する住民を近隣の皆様と各種団体が相互に連携して、情報交換の場をつくり、安心で住みやすい地域づくりを進めていこうとするものです。詳しくは長崎市社会福祉協議会 ☎ 828-1281 へお問合せください。(熊谷 俊和)

ガチャガチャ募金箱お披露目



頻発する大規模な災害時に被災者を支えるために使われています。この皆さんの「ほんの少しのやさしさ(寄付)」がたくさんの「安心」につながっています。ありがとうございます。

今年も10月1日から3月末まで「じぶんの町を良くするしくみ。」をメインテーマに赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まっています。共同募金運動は、昭和22年に始まり76年以上の歴史を持ちます。

この募金に市民の皆さんから寄せていただいた寄付は、生活困窮者、高齢者の居場所づくりなどを支援する様々な福祉活動や、近年

赤い羽根共同募金



「誰かの助けになりたい」

ガチャガチャ募金箱は、500円でバッジ1個を進呈しており、子どもの世代にも赤い羽根共同募金の意味を知ってもらおうと設置しています。

設置場所は、長崎市恐竜博物館(野母町568-1)、V・ポート浦上店(目覚町4-2ロビービル1F)、東美(浜町1-22)に置いてあります。今後少しずつ設置箇所を増やしていきますので、引き続き市民の皆さんのご協力をお願いします。(本村 信幸)